

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科
 資格： 助教
 氏名： 桶田 由衣

<p>研究課題名</p>	<p>John Milton作の仮面劇<i>A Mask</i>に関する研究</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>研究目的： 17世紀の叙事詩人John Milton (1608-74) 作の仮面劇<i>A Mask</i> (1634)を中心として、“sport”という語をMiltonがどのように捉えていたのかを明確にすることを目的とする。</p> <p>研究概要： 17世紀において“sport”は、「遊び、気晴らし、娯楽」という意味で使用されることが多く、しかもそれは当時のピューリタンたちから道徳的に墮落するものとみなされ、否定的に捉えられていた。ピューリタンであったMiltonも少なからず、当時の国王が発布した<i>Book of Sports</i> (1633)における「日曜日の礼拝後の娯楽の容認」については批判的に見ていた。従来の研究で、Miltonが娯楽を全否定していたわけではないことは明らかにされているが、Miltonの作品における“sport”の使用例全てを扱って研究した例はあまり多くない。そこで、<i>Book of Sports</i>の一年後に発表された<i>A Mask</i>を中心に、Miltonが“sport”およびその他「娯楽、気晴らし」に類する語をどのように使い分け、捉えていたのかを検証する。</p>
<p>研究実績の概要</p>	<p><i>A Mask</i>を中心に“sport”が使用された作品において、どのように“sport”が使用されたのか分析を行なった。その結果、以下の結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Miltonが“sport”を使用している全作品（特に散文から晩年の作品）において、おおよそ皮肉・批判的な意味で使用している。 • “sport”が特に皮肉・批判的な意味で使用され始めたのは、<i>Book of Sports</i> 再版後のMiltonの散文からかと考えられる。 • Miltonの晩年の作品において、人を見世物にしたり、人に残虐なことをするとき“sport”が使用されることが多い。 <p>今後の課題として、</p> <ul style="list-style-type: none"> • “sport”が皮肉・批判的な意味で使用されていることから、当時の娯楽がどのようなものであったのかをさらに調査する必要がある。そこから、Miltonがどのような娯楽のことを想定して、作品内で“sport”を使用していたのかを明らかにしたい。 • 本研究を進めていく上で、“sport”に関する語“recreation”などもMiltonがどのように捉えているのかを研究する必要性が生じた。なお、この点については“recreation”の語源およびその意味の変遷を辿る研究も行った。 • “recreation”の意味の変遷を見ていくと、動物虐待に当たるようなものも娯楽としてみなされていた時代があった。今後は、Miltonの<i>A Mask</i>が執筆された時代において、国王を含め、貴族そして庶民が行っていた娯楽がどのようなものであったのかを、より詳細に調査する必要がある。 • Miltonは身体的な訓練を教育に用いるべきとも考えており、その時に現代でいう「スポーツ」や「娯楽」をどのように考えていたのかを改めて研究する必要がある。 <p>研究実績： “sport”や“recreation”に関する研究については、以下の学会発表を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「ジョン・ミルトンの作品の言葉の分析」 • 「現代における“recreation”の意味とその変遷」 <p>また、別件で<i>A Mask</i>が後世の女性作家に与えた影響について、論文を執筆し、現在投稿中である。</p>